

5 南薩の特色を生かした戦略的果樹産地の育成

果樹のブランド産地育成支援

成果の要約

- 1 きんかんのブランド産地維持に向け、園地マップと情報の連動及びデジタル化、活用方法について検討した。
- 2 たんかんのリュウキュウミカンサビダニの効率的防除体系確立に向けた発生消長調査、課題整理及び徹底防除の推進を図った。

1 対象

- (1) 南さつま農協果樹部会連絡協議会
ハウスきんかん栽培農家 48戸
きんかん重点農家 9戸
たんかん認証取得農家 74戸

イ きんかん春姫®の園地調査

園振協メンバーで年3回(春のビニル被覆の有無, 着果確認調査, 収穫前調査)園地調査を, JAで作成した紙媒体の園地マップに基づき実施している。本年度は, さらに6月~8月にきんかん全ハウスの調査を行い, 場所, 面積, 耕作者の確認と同時に全ハウスに通し番号(札)を設置し, 園地情報を一括管理できるようにした。

2 課題を取り上げた理由

- (1) きんかん産地の維持を図るため関係機関が連携し, きんかん栽培の課題解決や重点農家支援, 生産体制を確立するために支援方策を検討する体制整備に取り組む必要がある。
- (2) たんかん栽培におけるリュウキュウミカンサビダニ防除について, 生育初期からの徹底防除対策を推進しているが, 被害は続いていることから, 発生及び被害の抑制に向けた防除対策を検討し, 外観品質向上対策を強化する必要がある。

ウ 農地情報システムとの連動によるきんかん園地情報の管理

園地調査結果の整理と園地情報のデジタル化を目的に, 各市担当者に説明・協力依頼し, ハウスの通し番号を用いて各市で管理している農地情報システム(農地番号, 所有者等)との連動を図ることとなった。また, 連動した園地情報の活用方法について関係機関で検討し, 随時必要な項目を追加し, 有効活用を図っていくこととなった。

3 活動の内容及び成果

(1) きんかん

- ア きんかん課題プロジェクトチーム(以下, きんかんPT)の定期的打合せ
きんかんPTの打合せ会は随時実施した。このPT会をきっかけに, 打合せチーム員(農協, 普及)で果樹全般の生産振興対策についての打合せを定期的に行い, 課題整理, 活動内容検討及び情報共有を行った。

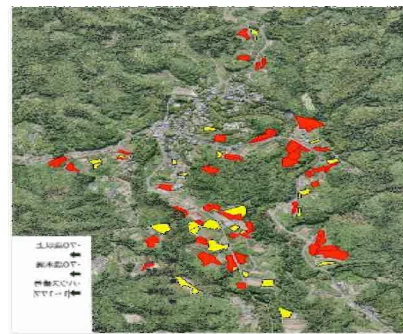


図1 南さつま市中山地区年齢別耕作者の把握

表1 園地情報項目一覧の案(例)

園地(ハウス)通し番号	農地番号(地番)	地権者	園地(ハウス)面積(a)	(ハウス建設日)	耕作者	生年月日	後継者の有無	R4年度普通ビニル被覆の有無	R4年度1番花着果状況(R4.8.1)	R4年度収穫前調査(収穫開始目安)
1	南さつま市〇〇	〇〇太郎	41	1993/10/2	●●一郎	S48.9.10	無	有	80%	1/16~
2	南九州市△△	△△次郎	23	2000/8/10	▲▲二郎	S35.9.10	有	有	70%	1/16~
3	枕崎市××	××三郎	32	1997/6/1	××三郎	S27.9.10	無	無	50%	1/23~

エ きんかん重点農家支援

前年度から開始した就農5年以内の農家はじめ、技術習得支援が必要な9名に対する具体的な支援策の検討及び実践に取り組んだ。個別ヒアリングでは、前年度の取り組みの反省と、実績をもとにした新たな栽培課題を設定した。また、栽培のポイントとなる全体の品目検討会のあと、重点農家の園地を巡回し、個々に応じた技術習得支援に取り組んだ。



写真1 現地で個々にヒアリングを実施



写真2 重点農家を巡回し、支援を実施

(2) たんかん

ア リュウキュウミカンサビダニの発生活消長調査及び防除対策支援

効果的な適期防除を図るため、病害虫防除所の協力によりリュウキュウミカンサビダニの加害がある2園地で発生活消長を調査した。その結果、年間を通じた発生・加害の時期や状況を把握できた。また、薬剤散布の効果があがる薬量や散布むらの影響、樹形改善の必要性などの課題整理ができた。これらの調査結果や防除のポイント等について、講習会で随時情報提供と防除対策推進を図った。



写真3 サビダニ採取作業

イ 摘果講習会における薬剤防除の実演

枕崎市と南さつま市坊津で開催したたんかん摘果講習会で、事前に用意した見本樹を活用した早期摘果の推進のほか、リュウキュウミカンサビダニの徹底防除を図るため、防除実演を行った。実演では、薬剤のかかり具合を把握するため感水紙を用いて、鉄砲及び3頭孔と動噴のノズルを変えた場合の薬剤のかかり方の違いを確認した。薬



写真4 たんかん園地で防除方法実演

剤のかかりやすい樹形作りの提案も行い、散布むらを減らす意識づけができた。

4 今後の課題

- (1) 農地情報を活用した園地貸借マッチング及び栽培技術改善
- (2) リュウキュウミカンサビダニの改善防除体系検証及び実践推進

5 担当した普及職員（〇はチーフ）

〇八丸，藤崎